科目ナンバリング	U-LAS20 10001 SB48						
授業科目名<英訳>	英語リーディング ER70 1A5 English Reading			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 木下 千花		
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金4	配当学年	1回生	対象学生	全学向

[技能領域]

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

『テルマ&ルイーズ』（リドリー・スコット監督、1991年）は、女性バディ映画の元祖のひとつとして広く知られるロードムービーの名作だが、公開当時はフェミニズムかバックラッシュか、銃による暴力の是非などについて熱い論争を呼び起こした。本授業では、この映画のジェンダー表象、ジャンル横断性、空間と風景、歴史的文脈、受容を分析した英語の書籍 Marita Sturken, Thelma & Louise (London: British Film Institute, 2020) を毎週数ページ程度のペースで読む。 E-learning (LMS) を通しての質問、授業での発表とディスカッション、映像クリップを使った解説・紹介を通して、含意の取りにくい洗練された表現や文化的な背景についての疑問を解消し、英語表現についての理解を深める。

[到達目標]

・英語圏の知的な一般読者や大学生を対象とした英語をある程度まとまった量読むことで、英語を和訳せず英語として理解する力を培う。
・課題箇所について英語で要約を書いたり口頭でコメントを述べたりすることで、リーディングで得た知識をアウトプットに繋げることができるようになる。

[授業計画と内容]

・英語圏の大学の一般教養科目で読む程度の英語に触れ、ある程度の量を読み、理解力を培う。

授業計画は以下の通り。ただし、あくまで予定なので、変更する可能性がある。
第1回自己紹介、教科書および授業の進め方の説明
第2回 Film Viewing 『テルマ&ルイーズ』
第3回 Film Viewing 『テルマ&ルイーズ』続き、コメント記入
第4回 Forward to the 2020 Edition
第5回 Thelma & Louise (Introduction)
第6回 Thelma & Louise (Introduction)
第7回 Genre Bending
第8回 Genre Bending
第9回 Contentions of Space: The Domestic and the Frontier
第10回 Contentions of Space: The Domestic and the Frontier
第11回 Girls, Guns and the Law
第12回 Girls, Guns and the Law
第13回 Identification and the Gaze
第14回 Identification and the Gaze
《期末試験》
第15回 フィードバック

英語リーディング ER70(2)へ続く↓↓↓

英語リーディング ER70(2)

・履修者は、第2-14回は毎回上記の指定部分を読んで予習してくること(「授業外学修」参照)。
・毎回授業内で上記予習範囲についてのテストを行う（辞書と教科書のみ持ち込み可）。
・1回はグループ・プレゼンテーションが回ってくる。プレゼンは原則として英語で行い、パワーポイントも英語で作成すること。
・授業中は積極的に授業に参加すること。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。
授業への積極的な参加: 20%
映画コメント: 5%
プレゼンテーション：10%
授業内読解テスト5x11=55%
期末試験: 10%
ョン点のみならず、「授業への積極的な参加」（20%）からも大幅に減点す る。

[教科書]

Marita Sturken 『Thelma & Louise』（Bloomsbury, 2020）ISBN:9781838719289

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習：
・「要するにこういうこと」という簡潔なメモを英語もしくは日本語で適宜余白に書き入れる(もしくはノートに書き出す)のは効果的。
・一方、意味不明の文があれば、辞書を引いて単語の意味を調べて書き込み、構文と前後の意味を再確認する。
・それでも意味がわからない文には印をつけるか書き出すかし、授業中に質問する。
プレゼンテーション：
・「予習」をしたうえで、該当回の内容についてグループ・プレゼンテーションを行う。詳細は第1週に説明する。

[その他（オフィスアワー等）]

LMSを予習および授業中に使用する。インターネット、電子メールも使えることが望ましい。これらのツールをどうしても使用できない事情がある履修者は、相談すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]